

都・道・府・県・市・区・町・村 教育委員会殿
 小・中・高等学校長殿
 関係各位

昭和62年9月15日

全国バス学習研究会 名誉会長 塩田 芳久
 名古屋大学 名誉教授
 全国バス学習研究会 会長 荻原 克巳
 愛知県春日井市立中部中学校長
 第22回全国バス学習研究会 会長 望月 和三四郎
 東京都清瀬市立清瀬第五中学校長

第22回全国バス学習研究会の開催について（ご案内）

第2学期が始まりました。貴職にはますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。
 今日、わが国を取り巻く諸情勢は大変厳しく、内では、学校教育に対するさまざまな論議があります。「バス学習」研究では、はやくから「教育の基盤は人間関係にある」という原理のもとに、教育の実証性・全体性・一貫性を重視し、学校と研究者の共同研究によって、これまで30年近く研究を積み重ねてまいりました。そして、最近、ようやく包括的・統合的教育方法論を組み立てることができました。

第22回全国バス学習研究会では、次の主題をかかげて、これまでの取り組みを解説し、皆さま方のご批判を得て、研究を更に一層深めてまいりたいと考えています。

主題「児童・生徒一人ひとりを生かすために——バス学習をどう導入したらよいか——」

大変ご多忙とは思いますが、多数の方々のご参加をお願いするとともにご案内申し上げます。

実施要綱

- 主催 全国バス学習研究会
- 後援 東京都教育委員会
- 期日 昭和62年11月19日(木)、20日(金)
- 場所 東京都清瀬市立清瀬市民センター等(会場案内等P.4参照)
- 日程

		9:00	9:30	10:00	11:40	12:10	13:30	17:00	18:00	20:00
11 / 19 (木)	受付	開会行事			全体会 (提案)	アトラクション	昼食 休憩	分科会		懇親会 (希望者)
	受付	分科会報告			記念講演	閉会行事	希望者のみ教育視察 (気象庁気象衛星センター 13:30までに現地集合)		[※内容・場所等は、次ページ以降を参照ください。]	
		9:00	9:30	10:00	11:30	12:00	13:30	15:00		

6. 大会主題 児童・生徒一人ひとりを生かすために
 ——バス学習をどう導入したらよいか——

7. プログラム

・11月19日(木) 受付 9:00~9:30

(1) 開会行事 9:30~10:00 総合司会 青野宏康(清瀬五中)

- ① あいさつ 第22回全国バズ学習研究集会会長 望月 和二郎
 全国バズ学習研究会会長 荻原 克巳
 全国バズ学習研究会名誉会長 塩田 芳久
- ② 祝 辞 東京都教育委員会 教育長 水上 忠 先生
 清瀬市教育委員会 教育長 岡田 慶三 先生

(2) 全体会 10:00~11:40 司会 梶田正巳(名古屋大学)

記録 秋場 隆(清瀬小) 小澤 英子(小金井二中)

バズ学習研究のねらい、その目標と達成手段としての包括的・統合的な指導方法論などについて解説するとともに、具体的な問題として、以下の①~⑤などの緊要な教育問題をとりあげ、これらの問題に関するバズ学習研究からの取り組みの概要を通じて問題を提起する。

- ① バズ学習とは 塩田 芳久(名古屋大学名誉教授)
- ② 教科指導とバズ学習 杉江 修治(中京大学)
- ③ 健全育成とバズ学習 荻原 克巳(春日井市立中部中学校)
- ④ 人権尊重の教育(同和教育)とバズ学習...越智 昭孝(広島県立広高等学校)
- ⑤ 地域に根ざす教育(家庭・地域との連携)とバズ学習
 永井 辰夫(稲沢女子短期大)

(3) アトラクション 11:40~12:10

下宿ばやし 清瀬市郷土芸能保存会の皆さん

(4) 分科会 13:30~17:00

全体会での問題提起を受けて、各分科会では、それぞれの特徴に応じた適切な問題をとりあげ充実した全員参加の討議を行う。そして、参加者全員が今後の教育研究・実践に資する何かを持ち帰られることを期待する。

	司会者	提案者	助言者	記録
第一分 <small>(小学校低学年)</small> 科学会	太田 信夫 (筑波大学) 大関 巖 (新潟市立南中野山小)	鹿内 信善(北海道教育大) 丸山 正克(豊川市立代田小) 林 ひろ子(清瀬市立清瀬十小) 井上 哲郎(新潟黒崎町立板井小)	小石 寛文(神戸大学) 石部 清和(滋賀湖東第三小) 小島 幸彦(土岐市立泉西小) 松本 重雄(春日井市教育委員会) 光島 章一(清瀬市立芝山小) 豊国 俊春(姫路市立城北小)	福川 晃(広島豊浜町立豊浜中)

	司会者	提案者	助言者	記録
第二分科会 (小学校高学年)	杉江修治 (中京大学) 石河竹二郎 (滋賀山東町教育委員会)	市川千秋(三重大学) 土屋邦雄(新潟市立曾野木小) 長縄秀孝(春日井市立篠木小) 内海行之(姫路市立広畑小) 中野均(新潟市立丸山小)	速水敏彦(名古屋大学) 永井辰夫(稲沢女子短期大学) 小柳良巳(清瀬市立清瀬小) 鈴木一徳(清瀬市教育委員会) 森本俊和(姫路市立御国野小)	永野進 (春日井市立鳥居松小)
第三分科会 (中・高校)	梶田正巳 (名古屋大学) 加藤孝史 (春日井市立西部中)	松原敏浩(大同工業大学) 牛尾照夫(姫路市立高丘中) 山田克巳(青森市立横内中) 稲田瑞穂(清瀬市立清瀬五中)	中野靖彦(愛知教育大学) 新田正彦(元広島県立豊高校長) 越智昭孝(広島県立広高校) 清水快雄(土岐市立泉中) 荻原克巳(春日井市立中部中) 杉山武久(都立多摩教育研究所) 有元佐興(小金井市立小金井二中)	寺脇覚 (姫路市立灘中)

(5) 懇親会 18:00~20:00

① 場所

② 会費 5,000円、当日受付で納入してください。

③ 申込み 参加申込み用紙の懇親会の項に○印を記入してください。

・11月20日(金) 受付 9:00~9:30

(1) 全体会 9:30~11:40 総合司会 青野宏康(清瀬五中)
記録 木村幸夫(清瀬五中)

① 分科会報告 9:30~10:00 各分科会司会者から報告

② 記念講演 10:00~11:30

「児童・生徒一人ひとりを生かすために」

名古屋大学名誉教授 塩田芳久 先生

③ 閉会のことば 第22回全国バス学習研究集会会長 望月和三郎

(2) 全国バス学習研究会総会 11:40~12:00

司会 稲垣菊夫(全国バス学習研究会事務局)

(3) 教育視察 気象庁気象衛星センター見学 13:30までに現地集合(15:00まで)
申込書の希望らんに○をつけてください。

8. 参加申込み

- (1) 大会参加費 2,000円(資料代を含む) 当日受付で納入してください。
- (2) 別紙申込み用紙に必要事項をご記入の上申込んでください。
- (3) 申込み締め切り 10月20日(火)

※ 資料等の準備がありますので期日を守ってください。なお、期日をすぎた時は電話で申込むと同時に、申込み用紙を至急大会事務局へ送ってください ※

- (4) 申込み先



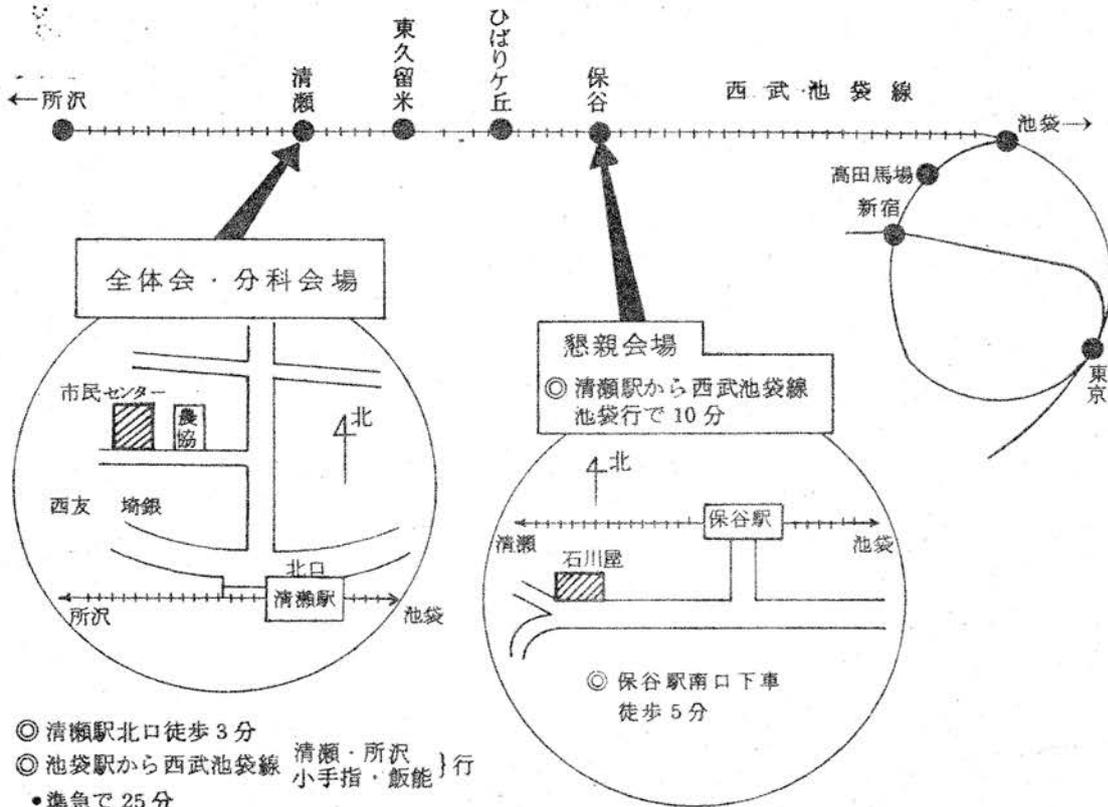
9. 昼食について

市民センター付近の地図を資料の中に同封しますので、食堂でおとりください。

10. 宿泊申込み 大会事務局では取り扱いませんが、ご希望の方は別紙を参照の上申込んでください。

11. 会場(全体会・分科会及び懇親会場)

清瀬市立清瀬市民センター



- ◎ 清瀬駅北口徒歩3分
- ◎ 池袋駅から西武池袋線 清瀬・所沢 } 行
 小手指・飯能 } 行
 - 準急で25分
 - 普通で35分
- ◎ 急行は停車しませんので、ひばりヶ丘駅で乗り換えてください。

第22回全国バス学習研究会 資料

バス・单元見直し学習 — 試案 —

東京都清瀬市立清瀬第五中学校長

望月和二郎

(62.11.19.~20.)

1年数学科における試み

1. はじめに

昭和62年11月5日(木)第5時限に、東京都中学校数学教育研究会・東京都北多摩公立中学校数学教育研究会主催、東京都清瀬市教育委員会・北多摩地区公立中学校教育研究協議会共催による公開授業と講演会で、公開授業を実施する機会があった。

この時に「バス・单元見直し学習」による授業を試みた。以下にその概要を述べる。

2. 指導対象学年と单元

(1) 指導対象学年

1年生1クラス。男19名、女19名、計38名。特にこれといった問題はなく、明るい学級である。

学級の班は6人~7人で構成されており、今回の数学の授業では、その班別に並んでいる席順に、4人グループを7班、5人グループを2班つくって実施した。

(2) 单元

第5章 関数と比例 (P.101~P.113)

<新編 新しい数学(1) 東書>

3. 実施の経過

(1) 指導計画

事前テストを実施し、その結果から、補充・修正・まとめの時間も含めて10時間の計画を立てた。そして、その一覽を事前に生徒へ渡した。(資料1~7参照)。<10時間の中に事前・事後テストを含む>

(2) 毎時記入表(自己評価表も含む)。

指導計画一覽にある、指導時間数分を事前に渡し、授業前と授業後に記入するようさせた。

グループの役割については(4人グループになったとき)輪番制で、まとめ役(司会)と記録をきめた。いつ自分がその役割になるかははっきりさせておいた。

(3) 授業のすすめ方について

話し合いを取り入れた授業は初めてなので、第2時の(1)計画について、(2)すでに学習した事項の補充を実施しながら、4人グループの配置・話し合いのしかたなどを説明した。

(4) 授業の実際

指導略案作成と課題を印刷し提示する。課題は一斉に各自実施(3分~5分程度)。そのあと、隣同士で実施したものを交換し合っ
て確認する。とか、4人グループで話し合いをする。

そして、ファックス原紙の反古紙(黒の部分)にフックで記録者が、話し合われた内容を書いて学級へ報告(黒板にマグネット
とめる)する。

まとめるときに、無理に統一するのでなく異なった考え方などあ
つたらそれを併記することにした。

そのあと、各班から出された内容をもとにして、教師が疑問した
り、学級全体から意見を出させたりして、課題解決の方向づけをし、
補充したりして、教師がまとめる。(資料11以降を参照されたい)

(5) 事後テストの実施

テストというと、すぐ成績と考えがちなので、今までの学習で理
解していないところがどこにあるかを見るものであると説明して実
施した。

最後の9分間は、教科書・ノート・メモ・掲示物などを見てよい
としたが、初めてのことなので、なかなかその活用ができなかつた
ようである。(授業前・中・後でまとめあげた資料の活用をする習
慣づけはどの教科でも大切なことであると思う。)

Ⅳ 数学事前テスト 62.10.23(金)

《事前テストとは》

1. 新しい単元(章)に入る時に行うテストです。
2. 新しい単元で必要とする、今までに学習した内容をどの程度理解しているか、これから学習しようとする内容についてどんな状態であるか、
などを
知るテストです。
3. 短時間で実施しますので、分からないところがあるとしてもさしつかえありません。(テストというときすぐ成績というのを考えますが、そのことは考えないでください。) がんばりましょう。

1年 組() 番氏名()

(問) テストを実施する前に、次の番号のうち一つに○をつけてください。

1. 数学は好き
2. 数学は嫌い
3. どちらともいえない

(資料-1)

数学 事前テスト (25分)

62. 10. 23. (金)

1. 次の計算をし、分数は約分して答えなさい。(①~④)

① $\frac{2}{3} \times 6$ ② $(-\frac{1}{2}) \times 3$ ③ $(-3) \times (-1.5)$ ④ $\frac{12}{-3}$

① ② ③ ④

2. 次の問いに答えなさい。(⑤~⑨)

- ⑤ -5の絶対値をいえ。→
- ⑥ -3の逆数をいえ。→
- ⑦ $x = -1$ のとき $-x$ の値を求めよ。→
- ⑧ $x = -2$ のとき $2x - 1$ の値を求めよ。→
- ⑨ $x = -3$ のとき $\frac{x-1}{3}$ の値を求めよ。→

3. 次の方程式を解きなさい。(⑩~⑬)

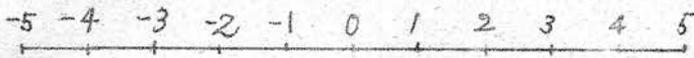
⑩ $3x = 2$ ⑪ $-y = 5$ ⑫ $-3x = -6$ ⑬ $-2y + 3 = 0$

⑩ $x =$ ⑪ $y =$ ⑫ $x =$ ⑬ $y =$

4. 次の問いに答えなさい。(⑭~⑰)

- ⑭ 日本の首都は である。→
- ⑮ 3という絶対値をもつ数は である。→
- ⑯ 3.125以上、3.134未満の数の小数第3位を四捨五入すると になる。→
- ⑰ B組の先生(担任)は 人いる。→ 人

5. -5から5まで目盛った下のようない数直線がある。



この数直線を使って、次の周いに答えなさい。(20~22)

- ⑱ 3より大きい整数を全部あげよ。→
- ⑲ -2より小さい整数を全部あげよ。→
- ⑳ 4以上の整数を全部あげよ。→
- ㉑ -3以下の整数を全部あげよ。→
- ㉒ -2以上で3以下の整数を全部あげよ。→

6. x, y, z の間に $z = xy$ が成り立つとき、次の値を求めなさい。(23~24)

- ㉓ $x=6, z=4$ のとき y の値は である。→
- ㉔ $y=-\frac{1}{2}, z=2$ のとき x の値は である。→

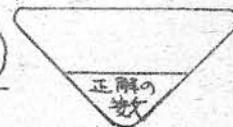
7. 次の x, y の関係を等式で表しなさい。(25~27)

- ㉕ 毎時4kmの速さで x 時間歩いたとき y km 歩いた。→
- ㉖ 1辺が x cm の正方形の面積が y cm² である。→
- ㉗ m 円のリボンを y m 買って、代金600円をはらった。→

8. 次の文で、正しいときは に○, 正しくないときは×を入れなさい。(28~29)

- ㉘ 2つの量があって、一方が増えればそれとともに他方が増える場合を(正)比例という。→
- ㉙ 2つの量があって、一方が増えるとそれとともに他方が減る場合を反比例という。→

1年組()番氏名()



第5章 関数と比例

新編 新しい数学(1)

<東京書籍>

(P.101 ~ P.113)

② 指導計画一覧

- * 事前テストの結果をもとにして立寄、
- * 第2時に、この指導計画一覧を生徒に渡し、説明、
同時に、既習事項の補充を実施。

(資料-5)

第5章 関数と比例 (P.101~P.113) 計画

No.	内 容 (教科書関連ページ)	実施
1	事前テストと採点・集計 ()	10/2
2	(1) 計画について (2) すでに学習した事項の補充 ()	10/2
3	(1) 変化と対応 (2) 関数とは ()	10/2
4	(1) 関数関係の式表示 ()	11/
5	・補充とまとめ ()	11/
6	(1) 比例関係にあるもの (2) 比例とは ()	11/
7	(1) 比例関係を表す式の利用 ()	11/
8	(1) 反比例 (2) 反比例を表す式の利用 ()	11/
9	・事後テストと採点・集計 ()	11/
10	・補充とまとめ ()	11/

(資料-6)

月日	私の目標	更に努力したい目標 <small>(授業 実施後)</small>
3(金)		
6(月)		
8(水)		
2(月)		
4(水)		
5(木)		
6(金)		
9(月)		
12(木)		
16(月)		

(資料-7) 1年()組()番氏名()

③ 毎時(前後)記入表

④ 指導計画一覧にある 計画指導時間数合を事前に渡しあり、授業前と授業後に記入することとしている。
(資料-8は左ページ, 資料-9は右ページに印刷)

月	日	曜	第	時限
第 章				
計画 No.				教科書関連ページ P.
<p><課題> この <課題>らんについては、 大事なものメモをする。 自分の考えを書く。 グループで話し合った記録 自由に使うように指示してある。</p>				

(資料-8)

計画 No.	教科書関連ページ P.
私の目標(授業で身につけたいこと)	自己評価
1.	5 4 3 2 1
2.	5 4 3 2 1
3.	5 4 3 2 1
4.	5 4 3 2 1
グループ70の役割 まとめ役 記録 (回会)	
授業中私はどうであったか。自己評価しよう。	
1. 授業は楽しかったか	5 4 3 2 1
2. 話し合いに参加したか	5 4 3 2 1
3. 分かっているところをよく説明したか	5 4 3 2 1
4. 分からないところをよく聞いたか	5 4 3 2 1
5. この時間の内容はよく分かったか	5 4 3 2 1
感想(忘れ物, 予習・復習, グループ70の役割 など)	
1年()組()番 氏名()	

(資料-9)

④ 指導略案と課題

(1) 指導略案の形式

1年数学 指導略案

62. (曜)

1. 第 5 章 関数と比例 第 時限
2. 第 時
3. 目 標

4. 指導の流れ () 教師 ①, ②, ... 生徒の活動 留意点・評価等

(1) 課題提示 (右ページ参照)

※ 指導略案、本時の課題は
資料-11 以降にあわせておく

(資料-10)

(2) 課題例 10月26日月曜 第2時限

第5章 関数と比例

計画 (1) 計画について 教科書関連ページ
No. 2 (2) すでに学習した事項の補充 P.

<補充> 事前テストから

1. 逆数とは.

2. x の値が上にあるとき \square にある式の値を求めて \rightarrow ()
に書き入れよ.

① x の値	-3	-2	-1	0	1	2	3
式	$-x$						
式の値	()	()	()	()	()	()	()

② x の値	-3	-2	-1	0	1	2	3
式	$\frac{x-1}{3}$						
式の値	()	()	()	()	()	()	()

3. 次に答えよ.

- ① 清瀬五中で、B組の担任は () 人いる。
- ② 日本の首都は東京である。を (日本, 東京) と書くとき
ア (イギリス,) イ (アメリカ,)
ウ (, ハロリ) エ (, ローマ)

4. 次のことを、等号(=)や不等号(>, <)を使って書け.

- ① 3は5より小さい。 ② x は5より小さい。
- ③ y は-3より大きくて、5より小さい。 ④ x は-3より大きくて5より小さい。
- ⑤ x は-3以上の数 ⑥ y は5以下の数。

5. 比例, 反比例とは.

(資料-11) 1年 () 組 () 番氏名 ()

1年数学 指導略案

62.10.28 (水曜)

第4時限

1. 第5章 関数と比例

2. 第3時 変化と対応

3. 目標
- (1) 2つの事象について対応関係の意味を知る。
 - (2) 変数について知る。
 - (3) 関数の定義を知る。

4. 指導の流れ () : 教師 ①②... 生徒の活動	留意点・評価等
<p>(1) 課題提示 (右ページ参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 課題の1を各自実施 (3分程度) ② グループで話し合いまとめる。(5分) ③ 学級へ報告 <p>(2) 補充と修正</p> <p>(3) 2つのことからあるきまりで結びつくことを「対応している」という。 ④「対応」についてグループで確認</p> <p>(4) 課題の2の()以上のことを確認して問いを完成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ 課題の2を各自実施 (3分) ⑤ グループで話し合いまとめる。(3分) <p>(5) ⑤⑥⑦をいくつかのグループに指名して解答させる。</p> <p>(6) 修正とまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥ 課題の3を各自実施する。(3分) ⑦ グループで話し合いまとめる。(5分) ⑧ 学級へ報告 <p>(7) 補充と修正</p> <p>(8) 全体をまとめる。関数の定義をする。 <定義> 2つのことから(又は量)があって、一方が決まると他方がただ1つ決まるとき、他方を一方の関数という。</p>	<p>(1) 疑問のないように問いを説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 集中して取り組んでいるか。 ② 話し合いはうまくいっているか。司会、記録者の仕事は決まっているか。 ③ きちんと用紙に書いてあるか。 <p>(2) はじめての方法なので、話し合い方、記録の方法などを説明する。</p> <p>(3) 板書で残しておく。</p> <p>④ 各自の取り組みは。</p> <p>⑤ 話し合いのしかたがうまくいっているか。</p> <p>(5) 本時は司会に聞く。</p> <p>(6) ⑥上の数を順序よくながめてよく「変わり方が」分かることを強調する。 ・課題の3で、 時間は何分から何分までか。(表域の考え方を強調)。 関数の定義は、理解できたか。</p>

(資料-12)

第 章

計画
NO.

教科書関連ページ
P.

<課題>

1. にあるきまりで、上のことから(又は数)に結びつくことから(又は数)を()に書きなさい。

① 表 ハリ 滑履 ロマ
上の都市のある国
 () () () ()

② 0 1 2 3
上の数を絶対値とする数
 () () () ()

③ -3 -2 -1 0 5 6
上の数を3倍する
 () () () () () ()

④ 3.15 3.25 3.35 3.45
小数第2位を四捨五入する
 () ()

2. 2つのことから(又は数)が、下のようになり()とき、その()のきまりをに書きなさい。

⑤ 道 香 高 松 掛

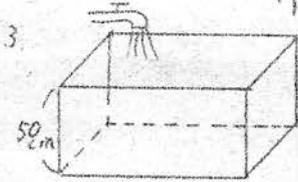
 高 香 高 香 高
 武 武 武 武 武

⑥ 1 -3 2 4 0

 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
 5 -15 10 30 0

⑦ -3 -2 -1 0 1

 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
 -7 -5 -3 -1 1



深さが50cmある図のような容器に水を入れる。
 今全く水が入っていないところへ1分間に5cmの高さになる水を入れるとき、時間(分)と容器に入った水の高さ(cm)の関係を下の表に書きなさい。

時間(分) () () () () ()

高さ(cm) () () () () ()

1年()組()番氏名()
 (資料-13)

1年数学 指導略案

62.11.2 (月曜)
第2時限

1. 第5章 関数と比例
2. 第4時 関数関係の式表示
3. 目標
 - ① 変数について知る.
 - ② 変域について知る.
 - ③ x, y を使って式表示できる.

4. 指導の流れ () 教師 ①, ② 生徒の活動	留意点・評価等
<p>(1) 課題提示 (右ページ参照)</p> <p>① 課題の1を各自実施 (2分程度)</p> <p>② 隣り同士で確認</p> <p>(2) 課題の2を読みあげる</p> <p>③ 各自実施 (3分)</p> <p>④ グループで話し合い、考えを述べあう (5分)</p> <p>⑤ 学級へ報告する</p> <p>(3) まとめと補充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変数, 変域について ・x分後に ycm になったとすると どう書いたらよいか ・にまよめる <p>⑥ グループで確認し合う</p> <p>(4) 課題の3を読みあげる</p> <p>⑦ 各自実施 (3分)</p> <p>⑧ グループで話し合い、まよめる (5分)</p> <p>⑨ 学級へ報告</p> <p>(5) まよめと修正・補充</p> <p>(6) 時間があれば課題の4を行う</p> <p>⑩ 各自実施する</p> <p>⑪ 隣り同士で確認する</p>	<p>(1) 前時のノートやメモをみておしを指示する</p> <p>② 正しく代えたか 「...ただ決まる...」かはっきりしてはるか</p> <p>(2) まちがらうておしよいかう思いついて書くようにいう</p> <p>④ 他グループに邪魔にならない声であるか ・お互いの考えを大事にする ・グループでまよめをはわないように十分指示する</p> <p>(3) xのよの意味することを明らかにする ・変数 x, 変数 y の使い方に注意させる</p> <p>(4) 課題の2との関連に注意する</p> <p>⑧ (3)で指導したことが生かされているか</p> <p>(5) 「xの値が決まるときそれによって yの値がただ決まる」ことを強調する</p> <p>(6) 次時のまよめと補充で再利用する</p>

(資料-14)

第 章

計画
No.

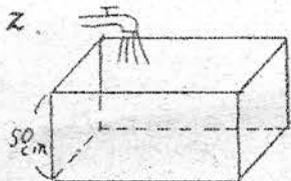
教科書関連ページ
P.

< 課題 >

1. 関数の定義を書きなさい

--

2.



深さが50cmある図のような容器に水を入れる。
今全く水が入っていないところへ1分間に5cmの高さになる水を入れるとき、時間(分)と容器に入った水の高さ(cm)の関係を下の表に書きなさい

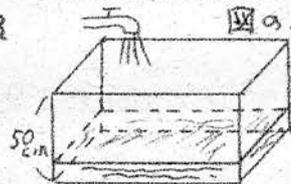
時間(分) () () () () ()

--

高さ(cm) () () () () ()

--

3.



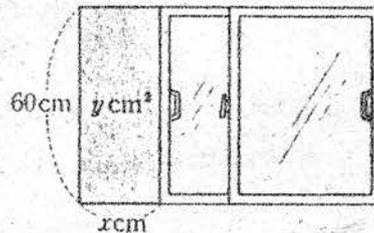
図のように水が底から10cm入っているところへ毎分5cmの高さになる水を入れるとき、時間(分)と容器に入っている水の高さ(cm)の関係を下の表に書きなさい。

時間(分) () () () () ()

--

高さ(cm) () () () () ()

4. 縦が60cmで、横は40cmまであけられる右図のような窓があるとき、 x cmあけたら、あけた部分の面積が y cm²であったという。このとき x と y の関係を下の表に書き x と y の関係式を書け



--

y () () () () ()

(資料-15) 1年 組 () 番氏名 ()

1年数学 指導略案

62.11.4 (水曜)

第4時限

1. 第5章 関数と比例

2. 第5時 補充とまとめ

3. 目標

- ① 対応関係
- ② 関数とは
- ③ 関数関係の式表示

} の確認

4. 指導の流れ () 教師 ①② 生徒の活動	留意点・評価等
<p>(1) 課題提示 (右ページ参照)</p> <p>① 課題の1 ①, ②, ③を各自実施 (2分程度)</p> <p>② 隣同士で確認する。</p> <p>(2) ①, ②, ③の確認を学級全体で行う。</p> <p>③ 隣同士で再度確認する。</p> <p>(3) 課題の2を提示</p> <p>④ 各自実施 (5分)</p> <p>⑤ グループで話し合う。そしてまとめる(5分)</p> <p>⑥ 学級へ報告。考えを話し合う。</p> <p>(4) まとめ・補充と修正。</p> <p>(5) 課題の3, 4を提示</p> <p>⑦ 各自実施 (10分)</p> <p>⑧ グループで考えを話し合う。</p> <p>(6) グループに指名して、いわせる。</p> <p>(7) 課題2 $y=60x$</p> <p>" 3 ⑥ $y=3x$ ⑦ $y=-6x$ ⑧ $y=4x$</p> <p>" 4 ⑨ $y=-5x$ ⑩ $y=3x-4$ ⑪ $y=8x$</p> <p>9各式で、同じような関係を示しているものを まとめさせる。</p>	<p>(1) 1・1・12, 教科書を読み直し ことをいう。</p> <p>① 1・1 など整理してあるか。</p> <p>② 正しいなにかないか 机間巡視で注意する。</p> <p>(2) 特に ③ の答と式について 今後とわりがなるときは教 全体であることをいう。</p> <p>(3) 考えがわからなければ 注意する。</p> <p>④ 机間巡視で指導</p> <p>⑤ 話し合いはうまくいっているか 異なったものも大事にする。</p> <p>⑥ 異なったものを大事にする。</p> <p>(5) ⑦ 机間巡視で個別指導 ・5分程度ずつたいてい 互いに聞きあうように指導する。</p> <p>⑧ グループ内で考えを話し 合せて修正しているか。</p> <p>(6) 時間があれば グループ ごとに記録して報告させる。</p> <p>(7) 次時への関連をつけて おく。</p>

(資料-16)

第 章

計画
No.

教科書関連ページ
P.

<課題>

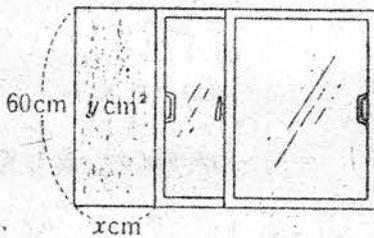
1. 次のことについて説明を下に書きなさい。(ノート・メモ・教科書を参考にしてもいい)

① 対応とは _____

② 関数とは (変数 x, y を使う) _____

③ 関数を考えるとき必要なことは _____

2. 縦が60cmで、横が40cmまであけられる下のような窓がある。



この窓で、 x cm あけたら、あけた部分の面積が y cm² あったという。
このとき x と y の関係を、④の表に書き入れ ⑤の に x と y の関係を表す式を書きなさい。

④

x	()	()	()	()	()
y	()	()	()	()	()

⑤

3. y が x の関数であり、次のような対応があるとき、その関係を式で表しなさい。(x の変域は数全体である)

⑥

x	-3	-2	-1	0	1
y	-9	-6	-3	0	3

⑦

x	-2	-1	0	1	4
y	12	6	0	-6	-24

⑧

x	-2	-1	0	3	6
y	-9	-5	-1	11	23

4. y が x の関数であり、 x と y の関係が ⑨ ~ ⑪ の式で表されているとき表を完成しなさい。

⑨ $y = -5x$

⑩ $y = 3x - 4$

⑪ $y = 8x$

x	-10	-3	0	7	8
y	()	()	()	()	()

x	-2	-1	0	2	5
y	()	()	()	()	()

x	-3	-1	1	4	10
y	()	()	()	()	()

(資料-17) 1年()組()番氏名()

1年数学 指導略案

62.11.5 (木曜)
第5時限

1. 第5章 関数と比例
2. 第6時 { (1) 比例関係にあるもの
(2) 比例とは
3. 目標 { ① 比例の定義の再確認
② 比例関係は関数であることを知る
③ 比例関係の式表示を覚える。

4. 指導の流れ () : 教師 ①, ② ; 生徒の活動	留意点・評価等
<p>(1) 課題提示 (右ページ参照) ① 各自実施 (3分程度) ② 隣同士で書いた内容の確認をする。</p> <p>(2) 課題②を語りあける。 ③ 各自実施 (5分) ④ グループへ報告し、まとめる (3分) ⑤ 学級全体へ報告。</p> <p>(3) 補充とまとめ ア Xの変域を真の拡大場面 といふことを示すか。 イ. 比例の定義を明示する。 ウ. 比例しているときの式は $y = ax$, $x = \frac{y}{a}$ で表されることへの準備をする。</p>	<p>(1) 予想、小学校の比の意味から書くか指示。 ② お互いに確認するだけにとどめる。 (2) 「真の方向を正の方向にね」ことを注意する。 ③ ④ 机間巡視をして個別グループ別指導をする。 ・話し合いがうまくいっていないか ⑤ フックス原紙の裏紙に記入して黒板へ。 (3) ア Xの変域を学級全体に拡張して表を書かせる。 イ. } のまとめの時、事前からウ } ②をヒリあげていく。</p>
<p>(4) 課題③を実施するに当たっての注意をする。 ⑥ 各自実施 (5分) ⑦ グループで確認し合う。</p> <p>(5) エ. 表からみてどんなことがいえるか。 オ. 表から作られた式の特徴はどうかを問ひかけ、グループで話し合わせる。 ⑧ グループで話し合い、まとめる。</p> <p>(6) グループに指名して 比例しているときの表における特徴、式ではどうかをまとめる。</p> <p>(7) 特別課題を提示する。</p>	<p>⑥ 各自実施済みは ⑦ 話し合いがうまくいっていないか、机間巡視をしながら個別指導の実施</p> <p>(5) 一般化していくには、どう生徒の考えをとり入れるか、机間巡視をしながらその考えを知る。</p> <p>(6) 表: 横の関係、縦の関係 式: $y = ax$ ($a \neq 0$, 実数) に着目させる。</p> <p>(7) 次時への関連問題とね。</p>

(資料-18)

第 章

計画
No.

教科書関連ページ
P.

< 課題 >

1. 次の①、②について答えなさい。

① 「比例している」とはどんなときか。説明しなさい。

② x と y が比例関係にあるとき、 y は x の関数になっている②
 そうだと思う人は \square に \bigcirc 、そうでないと思う人は \times を入れなさい

2. 面 A 君 \rightarrow 東 A 君は、今 P 地点において東へ向かって1分間に60mの速さで歩いている。東の方向を正の方向として、次の問いに答えなさい。

P をお経して x 分後に P 地点から y m のところを歩いている。

③ x の変域を等号か不等号を使って表しなさい

④ 下の表を完成しなさい。

x	()	x	3	...	10	...	40	...
y	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓

⑤ x の値とこれに対応する y の値にはどんな関係があるか。気がついたことを書きなさい。

⑥ x と y の関係を式で表しなさい⑥

まよ
 の

3. 次の表を完成し、式で表しなさい。

⑦

x	0	5	10	15	20
y	0	1	2	3	4

 式 \rightarrow _____

⑧

x	-2	-1	0	1	2	3
y	-8	-4	0	4	8	12

 式 \rightarrow _____

⑨

x	-3	-2	-1	0	1	2	3
y	9	6	3	0	-3	-6	-9

 式 \rightarrow _____

⑩

x	-3	-2	-1	0	1	2	3
y	3	5	7	9	11	13	15

 式 \rightarrow _____

第 章

計画
No.

教科書関連ページ
P.

<課題>

1. 前の時間のまとめを、次の各問をやって、しなさい。

<3> 次の表を完成し、式で表しなさい。

⑦ $\frac{x}{y} \mid \begin{array}{cccccc} 0 & 1 & 2 & 3 & 4 & 10 \\ \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\ 5 & 10 & & & & 50 \end{array}$ 式 \rightarrow _____

⑧ $\frac{x}{y} \mid \begin{array}{cccccc} -2 & -1 & 0 & 1 & 2 & 3 \\ \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\ -8 & 4 & & & & 12 \end{array}$ 式 \rightarrow _____

⑨ $\frac{x}{y} \mid \begin{array}{cccccc} -3 & -2 & -1 & 0 & 1 & 2 & 4 & 6 \\ \downarrow & \downarrow \\ 9 & 6 & & -3 & -6 & & & \end{array}$ 式 \rightarrow _____

⑩ $\frac{x}{y} \mid \begin{array}{cccccc} -3 & -2 & -1 & 0 & 1 & 2 & 3 \\ \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\ 3 & 5 & 7 & & & & \end{array}$ 式 \rightarrow _____

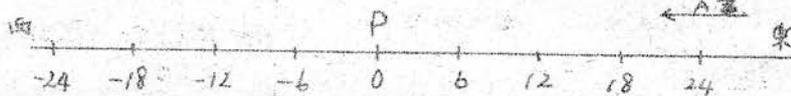
<特別課題>

62. 11. 5. (木)

A君は、東の方から西へ向かって時速6kmの自転車を走らせている。そして、今ちょうどP地点にいる。P地点からの距離を東の方向を正の方向とすると、次の各問に答えなさい。

- ア. P地点に着く1時間前にはB地点、2時間前にはC地点、4時間前にはD地点にいた。
イ. P地点を通過してから1時間後にはE地点、3時間後にはF地点にいる。

① ア. 1の各地点を下の数直線上に記号B~Fで示しなさい。



(下の数は、P地点からの距離を示している。)

② P地点を通過してからx時間後にykmのところにいるとき、

①を参考にしながら、下の表を完成しなさい。又、式も作りなさい。

x	...	4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5	...
y	...	6	6	6	6	0	6	6	6	6	6	...

エ xとyの関係を式で表しなさい。

1年数学 指導略案

62. 11. 9. (月曜)

第2時限

1. 第5章 関数と比例

2. 第8時 { (1) 反比例
(2) 反比例を表す式の利用

3. 目標 (1) 反比例は、比例に関連付けて式で表すことができる。
(2) 反比例を表す式の利用ができる。

4. 指導の流れ () : 教師 ①, ②, ... 生徒の活動	留意点・評価等
(1) 課題提示 (右ページ参照) 課題の1を指示する。そして、指名して発表させる。	(1) AとBの1と、x, y, 放科書等を見せよう。
(2) 課題の2を読みあげる。 ① 各自実施 (3分) ② グループで話し合う。そして、まとめて学級に報告する。(5分)	(2) xの領域をどう見ているか、机間巡視で注意をみる。 ③ 話し合いはうまくいっているか、疑問点が出ているか。
(3) まとめと補充	(3) 比例に関連付ける。比例の定義と反比例のそれとを明確にする。
(4) 教科書 P112 の問2, 問3, 及び例1を実施するように指示する。 ③ 各自に行わせる。(10分) ④ グループで話し合い、まとめて学級に報告する。(5分)	(4) 机間巡視として個別指導をねらう。 ④ 話すときと聞かるときを知らせよう。
(5) 例1を説明し、補充する。	
(6) 放科書 P113 練習問題を実施させる。	(6) 時間のないときは特別課題にする。
(7) 次の時間(11月13日<金>)テストを実施することを予告する。	

第 章

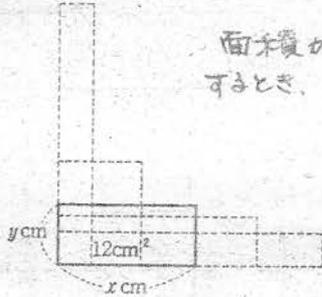
計画
No.

教科書関連ページ
P.

< 課題 >

1. y が x に比例しているとき、比例定数を a ($a \neq 0$) とするとき、 x と y の関係を表す式を に書きなさい。

2.



面積が 12cm^2 の長方形の横を $x\text{cm}$ 、縦を $y\text{cm}$ とするとき、次の に答えなさい。

① x と y の関係を下の表に示しなさい。

x	
y	

② ①の表から y は x に

3.

数学事後テスト (30分) 62.11.12. (木)実施

1. 次の①~③の x の範囲を等号(=)や不等号(>, <)を使って に書きなさい。

① x は 0 より大きい。

①	x
---	-----

② x は -5 以上 3 未満である。

②	x
---	-----

③ x は下の数直線上の太い部分である。ただし、●はその数を含み、○はその数を含まないものとする。



③	x
---	-----

2. 次の④~⑥は、 x と y の関係を表したものである。 y が x の関数になっているものには○、そうでないものには×を へ入れなさい。

④

x	-2	-1	0	1	2	3
y	17	15	15	13	13	13

④	<input type="text"/>
---	----------------------

⑤

x	3	3	2	2	1	1
y	3	3	-2	2	-1	1

⑤	<input type="text"/>
---	----------------------

⑥

x	0	1	2	3	4
y	0	-2	-4	-6	-8

⑥	<input type="text"/>
---	----------------------

3. y が x の次のような式で表されるとき⑦~⑨の x に対応する y の値を求めなさい。

⑦ $y = -2x$

x	-2	-1	$-\frac{1}{2}$
y	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

⑧ $xy = 18$

x	-6	-2	3
y	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

⑨ $y = 7 - x$

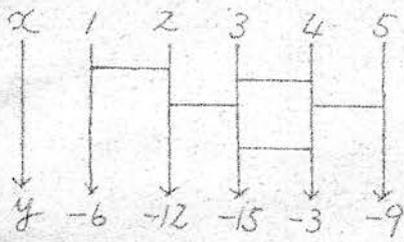
x	-3	0	7
y	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

4. 1つのサイコロをふいた時の出た目を x 、その時の裏の目を y とすると、 x に対応する y が右の表で表されるという。このとき y を x の式で示しなさい。

x	1	2	3	4	5	6
y	6	5	4	...	2	...

⑩	$y =$
---	-------

5. 下の対応表は、 x の値と y の値を「あみだくじ」で対応させたものである。



このとき、⑪~⑫に答えなさい。

⑪ 下の表を完成しなさい。

x	1	2	3	4	5
y					

⑫ ⑪の表から y を x を使った式で表しなさい。 ⑫ $y =$

6. ⑬~⑲について、 の中の記号ア~キで答えなさい。同じ記号を何回使ってもよい。

ア	$y = 3x$	イ	$y = -x + 3$	ウ	$y = \frac{3}{x}$	エ	$y = -\frac{x}{3}$														
カ	$xy = -3$	キ	$y = \frac{1}{3}x$	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>x</td> <td>-2</td> <td>-1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>y</td> <td>-5</td> <td>-4</td> <td>-3</td> <td>-2</td> <td>-1</td> <td>0</td> </tr> </table>				x	-2	-1	0	1	2	3	y	-5	-4	-3	-2	-1	0
x	-2	-1	0	1	2	3															
y	-5	-4	-3	-2	-1	0															

- ⑬ y が x に比例していて、比例定数が3である。
- ⑭ y が x に反比例していて、比例定数が3である。
- ⑮ $\frac{y}{x}$ が一定で、その値は3である。
- ⑯ xy が一定で、その値は-3である。
- ⑰ $x+y$ が一定で、その値は3である。
- ⑱ x が1のとき、 y は-3である。
- ⑲ y が x に比例していて、 x が1増すごとに y が $\frac{1}{3}$ ずつ減少している。



1年()組()番氏名()
(理科-25)

事後テスト集計結果 62.11.12.(木)実施

問 子 氏 名	事項																				計
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳		
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15
3	×	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16
5	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	9
6	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	12
7	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	12
8	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	8
9	○	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	7
10	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	11
11	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18
12	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	10
13	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	10
14	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	15
15	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	15
16	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	14
17	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7
18	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	13
19	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○	7
20																					
21	正答数	14	12	11	2	12	18	15	11	9	6	19	18	19	10	4	16	13	10	5	
22	誤答数	5	7	8	17	6	1	4	7	9	9	1	9	15	2	6	9	13			
23	無答数								1	1	3										
24																					
25																					

(注)

○:正答

×:誤答

—:無答

⑩、⑪、⑫は

訂正して

○, 1か所は

5か所の誤答は

×にした。

⑳は合計5点

<参考>

○17を1点と

したときの平均点

標準偏差を算出

平均点(19点満点)

11.6

標準偏差

3.6

問 子 氏 名	事項																				計
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳		
31	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	7
32	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16
33	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	4
34	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	13
35	○	×	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	10
36	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	15
37	○	○	×	×	×	○	—	—	—	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	7
38	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	11
39	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	16
40	○	○	○	×	○	○	×	○	×	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	14
41																					
42	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	18
43	○	×	×	×	○	○	×	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	9
44	○	×	×	×	○	○	○	○	×	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	12
45	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	10
46	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	12
47	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	9
48	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	8
49	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	×	×	×	○	○	12
50																					
51	正答数	14	8	6	3	15	18	12	11	9	6	17	12	15	11	7	17	12	6	5	
52	誤答数	4	10	12	15	3	0	5	6	8	10	1	6	3	7	11	1	6	12	13	
53	無答数							1	1	1	2										
54																					
55																					

(資料-26)

1年数学 指導略案

62.11.16.(月曜)
2時限

1. 第5章 関数と比例
2. 第10時 補充とまとめ
3. 目標 事後テストの結果から、補充をし、今までのまとめをする。

4. 指導の流れ () 教師 ①、② 生徒の活動	留意点・評価等
<p>(1) 課題提示 (右ページ参照) 事後テストの結果から、課題に示されている内容を実施する。(課1~課8)</p> <p>① 各自で実施する。(10分)</p> <p>② 班でお互いに考えを出し合い確認をする(10分程度)</p> <p>(2) 一斉で解説とまとめをする。</p> <p>(3) 課9を実施(10分程度)</p> <p>(4) 全体のまとめをする。</p>	<p>留意点・評価等</p> <p>① 教科書、ノート、メモなどを活用しているか。 ・集中して取り組んでいるか</p> <p>② 静かに話し合っているか。 ・人の話をよく聞いているか。 ・分からない人に説明をうまくしているか。</p> <p>③ 机間巡視をしてつまづいている生徒への援助をする。</p>

数学課題

62.11.16.(F) 第2時限

事後テストの結果から、次の内容がよく理解されていないので、もう一度実施して下さい。

- ・なお、教科書、ノート、今までの課題を実施したときのメモ、まとめ など 参考にして下さい。
- ・友だちに教えてもらったときは、そのことをメモしておきなさい。

<課1> 次の x の変成をことばで表現して下さい。

<例> $x > 0 \rightarrow x$ は 0 より大きい

① $0 > x$	② $-5 \leq x < 3$	③ $-3 < x \leq 5$
-----------	-------------------	-------------------

<課2> 「 y が x の関数である」とは、どんなことか、下に説明して下さい。

<課3> 下の表は、あるきまりで x と y が対応していることを示しています。 y が x の関数になっているものの番号を○で囲みなさい。

④ $\begin{array}{c cccc} x & -2 & -1 & 0 & 1 & 2 \\ \hline y & 4 & 2 & 0 & -2 & -4 \end{array}$	⑤ $\begin{array}{c ccc} x & -6 & -2 & 3 & 9 \\ \hline y & 3 & 9 & -6 & -2 \end{array}$	⑥ $\begin{array}{c cccc} x & -1 & -1 & 0 & 1 & 1 \\ \hline y & 2 & -2 & 0 & -4 & 4 \end{array}$
⑦ $\begin{array}{c ccccc} x & 17 & 17 & 15 & 15 & 13 & 13 \\ \hline y & -2 & -1 & 0 & 1 & 2 & 2 \end{array}$	⑧ $\begin{array}{c cccccc} x & 6 & 5 & 4 & 3 & 2 & 1 \\ \hline y & 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 \end{array}$	⑨ $\begin{array}{c cccc} x & -2 & -1 & 0 & 1 & 2 \\ \hline y & -1 & 1 & 3 & 5 & 7 \end{array}$

<課4> 課3の④, ⑤, ⑧を x と y を使って表して下さい。

④	⑤	⑧
---	---	---

(資料-28)

《一定である》とは。

《課5》 $\frac{y}{x}$ が一定になっているか、下の対応表で調べてみよう。

(例) $\frac{y}{x}$ | $\frac{1}{2}$ | $\frac{3}{6}$ | $\frac{4}{8}$ | $\frac{5}{10}$ | $\frac{6}{12}$ $\frac{y}{x}$, $\frac{2}{1}$, $\frac{6}{3}$, $\frac{8}{4}$, ... のように対応する値の組で考えよう。

⑩ $\frac{y}{x}$ $\frac{-6}{-18}$ $\frac{-3}{-9}$ $\frac{1}{3}$ $\frac{2}{6}$	⑪ $\frac{y}{x}$ $\frac{-2}{-5}$ $\frac{-1}{-4}$ $\frac{1}{-2}$ $\frac{2}{-1}$ $\frac{3}{0}$	⑬ $\frac{y}{x}$ $\frac{-2}{4}$ $\frac{-1}{1}$ $\frac{1}{1}$ $\frac{2}{4}$
--	---	---

《課6》 y が x に比例し、 $x=16$ のとき $y=-4$ である。このとき、 y を x の式で表しなさい。($y=$)

《課7》 y が x に反比例し、 $x=-8$ のとき $y=-2$ である。
 y を x の式で表しなさい。($y=$)

また、 $x=16$ のとき y の値はいくらか ($y=$)

更に $y=-4$ のとき x の値はいくらか ($x=$)

《課8》 次の①~④の2つの量 x , y について、下の間に答えよ。

- ① 1個5円の品物 x 個の代金が y 円である。
- ② 縦 x cm, 横 3 cm の長方形の周が y cm である。
- ③ 底辺 x cm, 高さ y cm の平行四辺形の面積は 24 cm^2 である。
- ④ 17.5 cm のえんぴつを x cm 使った残りが y cm である。

① y を x の式で表せ。

① $y=$ ② $y=$ ③ $y=$ ④ $y=$

② y が x に比例するものと、 y が x に反比例するものをあげよ。そ

れぞれの場合に、比例定数は何を表しているか。ふいてはひきかけ。

《課9》 終わった人は 教科書 P.102~P.113 を読み 大切なところを
 トートにまとめなさい。

(資料-29) 1年(組()番()氏名())

3 実施後の反省等

生徒の実態を知る(事前テストによる)、そして、指導計画を立てて、事前に生徒に計画表を渡したことはよかった。短い指導時間数(事前・事後テスト各1時間、補充時間等を入れて10時間)であったが、能率的にすすめる上でもよかった。以下に反省や感想を述べる。

(1) 指導略案の作成と課題づくり。

本時の目標を達成する課題は大切。この課題づくりが、その授業が生き生きとすすむかどうかの分かれ目になる。それと並行して、指導略案を必ず作成し、実施後の反省等を入れてファイルしておくことは、次時への指導に欠かせない大事なことである。

(2) 生徒たちの反応から

短い指導時間数だったので、話し合いを取り入れた学習形態に慣れ、よゆうをもって授業にのぞむところまでいかなかった。

しかし、今までの学習形態と比べて、学級の60%近くの生徒が、「グループの話し合いの中や、学級で報告をまとめあう時などに、自分の考えを出すことができた」といっている。その中の一人は、「今までは全く出せなかったが、みんなの前でよく発言した」と感想に書いていた。

- このことから、年間通して指導していく場合、このような学習形態を取り入れることは、生徒にやる気をおこさせるために大切なことである。
- 年度当初、話し合いの仕方について教えることにより、能率的・効果的に話し合いが身についてくる。
- 課題を出すと、2~3分後に隣り同士や後ろをむいたりしてさざめきが始まる。これがチャンスである。隣り同士机をつけて確認し合う。課題によっては4人グループをつくる。まとめさせる。等々。話し合いがうるさくなく、全員が参加できるようにするには4人グループを多用するのがよいと思う。

4 おわりに

このような指導形態だと進度が遅れるのではないかという疑問がある。その心配はない。深い教材研究と年間を見通した指導計画をもとにし、生徒の実態を知って行えば、むしろよゆうをもって指導できる。そして、授業を公開しお互いに切磋琢磨(しあ)う教師の姿勢が生徒たちのやる気を更に高めていくことを体験した。生徒と教師の人間関係の高まりと思う。つたない資料ですが、ご指導をいただきたい。

昭和62年9月15日

都・道・府・県・市・区・町・村 教育委員会殿
小・中・高等学校長殿
関係各位

全国バズ学習研究会名誉会長 塩田芳久
名古屋大学名誉教授

全国バズ学習研究会会長 荻原克巳
愛知県春日井市立中部中学校長

第22回全国バズ学習研究会会長 望月和三郎
東京都清瀬市立清瀬第五中学校長

第22回全国バズ学習研究会の開催について（ご案内）

第2学期が始まりました。貴職にはますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

今日、わが国を取り巻く諸情勢は大変厳しく、内では、学校教育に対するさまざまな論議があります。「バズ学習」研究では、はやくから「教育の基盤は人間関係にある」という原理のもとに、教育の実証性・全体性・一貫性を重視し、学校と研究者の共同研究によって、これまで30年近く研究を積み重ねてまいりました。そして、最近、ようやく包括的・統合的教育方法論を組み立てることができました。

第22回全国バズ学習研究会では、次の主題をかかげて、これまでの取り組みを解説し、皆さま方のご批判を得て、研究を更に一層深めてまいりたいと考えています。

主題「児童・生徒一人ひとりを生かすために——バズ学習をどう導入したらよいか——」

大変ご多忙とは思いますが、多数の方々のご参加をお願いするとともにご案内申し上げます。

実施要綱

- 主催 全国バズ学習研究会
- 後援 東京都教育委員会
- 期日 昭和62年11月19日(木)、20日(金)
- 場所 東京都清瀬市立清瀬市民センター等（会場案内等P.4参照）
- 日程

	9:00	9:30	10:00	11:40	12:10	13:30	17:00	18:00	20:00
11 / 19 (木)	受付	開会行事	全体会 (提案)	アトラクション	昼食 休憩	分科会			懇親会 (希望者)
11 / 20 (金)	受付	分科会報告	記念講演	閉会行事	希望者のみ教育視察 (気象庁気象衛星センター 13:30までに現地集合)		※内容・場所等は、次ページ以降を参照ください。		
	9:00	9:30	10:00	11:30	12:00	13:30	15:00		

- 大会主題 児童・生徒一人ひとりを生かすために
——バズ学習をどう導入したらよいか——

7. プログラム

・11月19日(休) 受付 9:00～9:30

(1) 開会行事 9:30～10:00 総合司会 青野宏康(清瀬五中)

- ① あいさつ 第22回全国バズ学習研究集会会長 望月 和二郎
 全国バズ学習研究会会長 荻原 克巳
 全国バズ学習研究会名誉会長 塩田 芳久

- ② 祝 辞 東京都教育委員会 教育長 水上 忠 先生
 清瀬市教育委員会 教育長 岡田 慶三 先生

(2) 全体会 10:00～11:40 司会 梶田正巳(名古屋大学)

記録 秋場 隆(清瀬小) 小澤 英子(小金井二中)

バズ学習研究のねらい、その目標と達成手段としての包括的・統合的な指導方法論などについて解説するとともに、具体的な問題として、以下の①～⑤などの緊要な教育問題をとりあげ、これらの問題に関するバズ学習研究からの取り組みの概要を通じて問題を提起する。

- ① バズ学習とは 塩田 芳久(名古屋大学名誉教授)
 ② 教科指導とバズ学習 杉江 修治(中京大学)
 ③ 健全育成とバズ学習 荻原 克巳(春日井市立中部中学校)
 ④ 人権尊重の教育(同和教育)とバズ学習...越智 昭孝(広島県立広高等学校)
 ⑤ 地域に根ざす教育(家庭・地域との連携)とバズ学習
 永井 辰夫(稲沢女子短期大)

(3) アトラクション 11:40～12:10

下宿ばやし 清瀬市郷土芸能保存会の皆さん

(4) 分科会 13:30～17:00

全体会での問題提起を受けて、各分科会では、それぞれの特徴に応じた適切な問題をとりあげ充実した全員参加の討議を行う。そして、参加者全員が今後の教育研究・実践に資する何かを持ち帰られることを期待する。

	司会者	提案者	助言者	記録
第一分(小学校低学年)	太田 信夫 (筑波大学) 大関 巖 (新潟市立南中野山小)	鹿内 信善(北海道教育大) 丸山 正克(豊川市立代田小) 林 ひろ子(清瀬市立清瀬十小) 井上 哲郎(新潟黒埼町立板井小)	小石 寛文(神戸大学) 石部 清和(滋賀湖東第三小) 小島 幸彦(土岐市立泉西小) 松本 重雄(春日井市教育委員会) 光島 章一(清瀬市立芝山小) 豊国 俊春(姫路市立城北小)	福川 晃 (広島豊浜町立豊浜中)

	司会者	提案者	助言者	記録
第二分科会 (小学校高学年)	杉江 修治 (中京大学) 石河 竹二郎 (滋賀山東町教育委員会)	市川 千秋(三重大学) 土屋 邦雄(新潟市立曾野木小) 長縄 秀孝(春日井市立篠木小) 内海 行之(姫路市立広畑小) 中野 均(新潟市立丸山小)	速水 敏彦(名古屋大学) 永井 辰夫(稲沢女子短期大学) 小柳 良巳(清瀬市立清瀬小) 鈴木 一徳(清瀬市教育委員会) 森本 俊和(姫路市立御国野小)	永野進 (春日井市立鳥居松小)
第三分科会 (中・高校)	梶田 正巳 (名古屋大学) 加藤 孝史 (春日井市立西部中)	松原 敏浩(大同工業大学) 牛尾 照夫(姫路市立高丘中) 山田 克巳(青森市立横内中) 稲田 瑞穂(清瀬市立清瀬五中)	中野 靖彦(愛知教育大学) 新田 正彦(元広島県立豊高校長) 越智 昭孝(広島県立広高校) 清水 快雄(土岐市立泉中) 荻原 克巳(春日井市立中部中) 杉山 武久(都立多摩教育研究所) 有元 佐興(小金井市立小金井二中)	寺脇覚 (姫路市立灘中)

(5) 懇親会 18:00～20:00

① 場所

② 会費 5,000円、当日受付で納入してください。

③ 申込み 参加申込み用紙の懇親会の項に○印を記入してください。

・11月20日(土) 受付 9:00～9:30

(1) 全体会 9:30～11:40 総合司会 青野宏康(清瀬五中)
記録 木村 幸夫(清瀬五中)

① 分科会報告 9:30～10:00 各分科会司会者から報告

② 記念講演 10:00～11:30

「児童・生徒一人ひとりを生かすために」

名古屋大学名誉教授 塩田 芳久 先生

③ 閉会のことば 第22回全国バズ学習研究集会会長 望月和三郎

(2) 全国バズ学習研究会総会 11:40～12:00

司会 稲垣 菊夫(全国バズ学習研究会事務局)

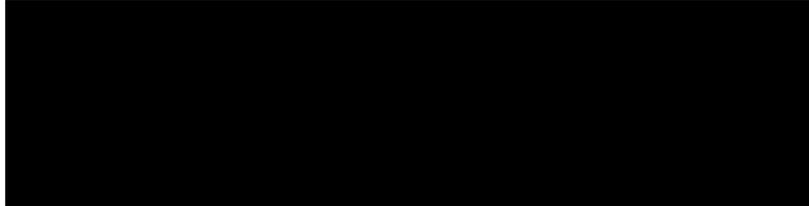
(3) 教育視察 気象庁気象衛星センター見学 13:30までに現地集合(15:00まで)
申込書の希望らんに○をつけてください。

8. 参加申込み

- (1) 大会参加費 2,000円(資料代を含む) 当日受付で納入してください。
- (2) 別紙申込み用紙に必要事項をご記入の上申込んでください。
- (3) 申込み締め切り 10月20日(火)

※ 資料等の準備がありますので期日を守ってください。なお、期日をすぎた時は電話で申込むと同時に、申込み用紙を至急大会事務局へ送ってください ※

(4) 申込み先



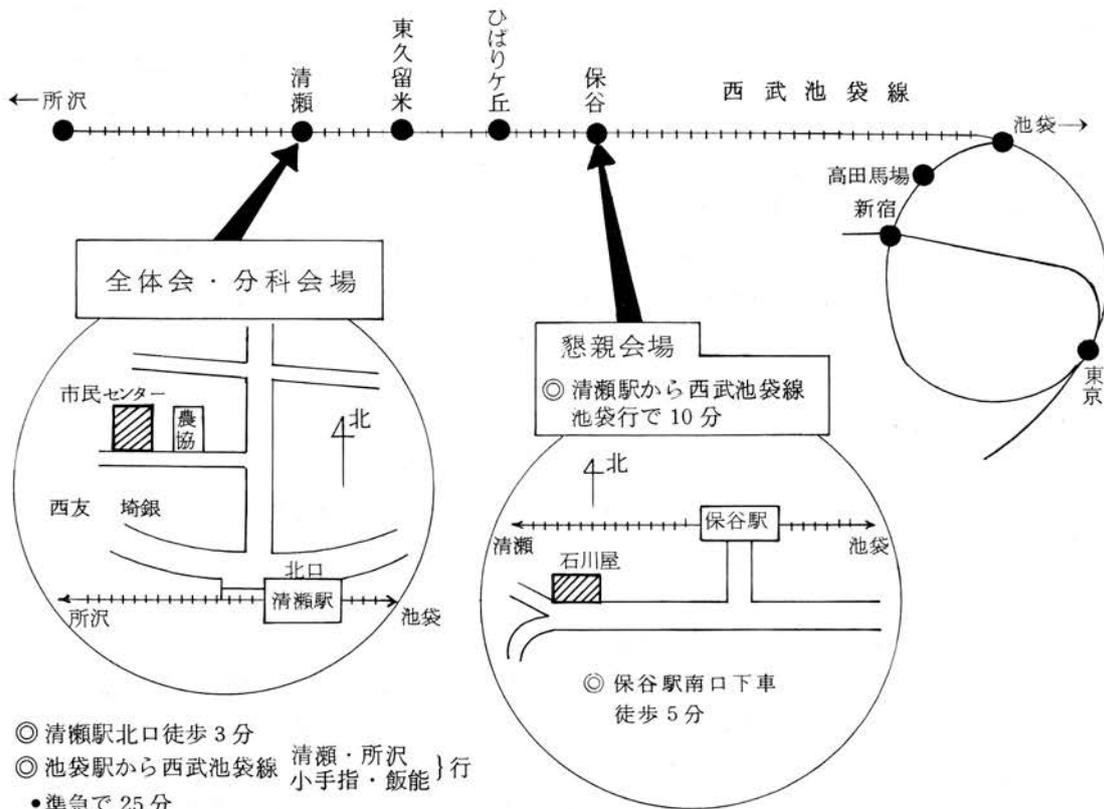
9. 昼食について

市民センター付近の地図を資料の中に同封しますので、食堂でおとりください。

10. 宿泊申込み 大会事務局では取り扱いませんが、ご希望の方は別紙を参照の上申込んでください。

11. 会場(全体会・分科会及び懇親会場)

清瀬市立清瀬市民センター



- ◎ 清瀬駅北口徒歩3分
- ◎ 池袋駅から西武池袋線 清瀬・所沢 } 行
小手指・飯能 } 行
 - ・準急で25分
 - ・普通で35分
- ◎ 急行は停車しませんので、ひばりヶ丘駅で乗り換えてください。